



清流の国 ぎふ

子どもたちの
健やかな成長の
ために



岐阜県は、
「話そう！語ろう！わが家の約束」
運動を推進しています。

岐阜県

「話そう！語ろう！わが家の約束」運動(1)

左の本年度版リーフレット(A4版三つ折り)を、幼稚園、小学校1年・4年、各市町の公共施設に配布しました。より一層、「話そう！語ろう！わが家の約束」運動を理解して、みなさんで取り組んでいただきたいからです。(下は、中面、裏面の一部)

この運動のねらいは、約束や宣言をすることをきっかけとして、家族での会話(コミュニケーション)や活動を充実させます。そして、愛情による絆で結ばれた家族とのふれあいを通して、健やかな成長に喜びを実感できることです。

今回は、3校の実践を紹介します。カードや取組過程が分かるようにしました。

- ①「ハッピー・スマイル週間」 外山小学校
 - ②「ノーメディアデー(家族の絆を深める日)」 小熊小学校
 - ③「こつこつ！ぐんぐん！おうちべんきょう」 真桑小学校
- 各学校での取組の参考にしてください。

岐阜県の子どもたちの様子は？

Q 「自己肯定感」をもって生活していますか？

A 「自分には、よいところがあると思う」という質問に対して、「当てはまる・どちらか」として「当てはまる」と答えた児童生徒の割合は小中学校ともに前年度よりも上昇し、全国平均を上回っています。

Q 家庭内のコミュニケーションはどのようなですか？

A 「家の人と学校での出来事について話をする児童生徒」の割合は、3年前から徐々に増えてはいますが、小中学校ともに全国平均を下回る状況が続いています。

平成28年度全国学力・学習状況調査(文部科学省)による

家庭内のコミュニケーションは「学校での出来事について話をすること」だけに限りません。家族のこと、宿題のこと、お手伝いのこと、地域社会のこと等々、話題はまだまだ広がります。

家庭内のコミュニケーションが深まり、特に家族から認めや励ましを受けた子どもの自己肯定感さらには増します。家庭に心の居場所がある子どもには、何事にも前向きに取り組む強さが身に付きます。

「話そう！語ろう！
わが家の約束」運動へ

「自己肯定感」のもてる子に育てたい

家庭内のコミュニケーションを大切にしよう

「話そう！語ろう！わが家の約束」運動に取り組もう！

岐阜県家庭教育支援条例で示す9つの項目を育むことにつながる

保護者の声から

基本的な生活習慣が身につきます！

朝自分一人で起きられるようになりました。



学習習慣が身につきます！

帰宅後すぐに宿題ができるようになりました。



思いやりの心が育ちます！

家庭内よいこと見つけはみんな温かい気持ちになりますね。



自立心が育ちます！

自分の役割を果たし、家族を助けてくれます。



自制心が育ちます！

ゲームの時間をきちんと守れるようになりました。



善悪の判断が身につきます！

スマホの利用について親子で話せました。



実践されたご家庭からは、「約束」をきっかけに家庭内のコミュニケーションが深まると同時に、子どもたちの力が無理なく伸びました、といううれしい報告をたくさんいただいています。

岐阜県のホームページをご覧ください

岐阜県 家庭教育 検索

「話そう！語ろう！わが家の約束」実践カードや「家庭教育プログラム」などの関係資料を掲載しています。

問合せ先

岐阜県環境生活部環境生活政策課
〒500-8570 岐阜市藪田南2-1-1
TEL 058-272-8752

本巣市立外山小学校

在宅取組型 5月31日(水)～6月5日(月)

「ハッピー・スマイル週間」

運営者の願い・目的

- ①家庭全体で落ち着いた時間や雰囲気をつくり出す。
- ②家族で読書できる機会を設け、本の感想を語り合うなど家庭の団らんを楽しみ、親子のふれあいを深める。

「話そう！語ろう！わが家の約束」運動の進め方

- ①1日20分間テレビを消して、読書する。
- ②その時間は子どもだけでなく、家族で読書や新聞などに親しむ。
- ③読書後、家族で感想交流や会話を楽しむ。
- ④テレビの他、パソコンやゲームも同じ扱い。

「ハッピー・スマイル週間」という名称は、若手職員によるネーミングだそうです。あったかさを感じ、家庭や地域がこの取組のことを意識できるようにと考えられました。

本巣中学校のテスト週間に合わせて年3回(5・10・2月)実施し、本年度からは外山小学校と本巣小学校が同一歩調で進めておられます。

左上が1年生用のカードです。1年生は、学習はすぐに終わってしまうので、「読んだ本・誰と・何分」を記入します。

下の2～6年生用カードでは、読書・学習内容や自主学習についてチェックし、時間も記入します。

取組後、集計結果を配布しています。各学年ごとの読書・学習の合計時間では、高学年になるに従って増加しています。多い子は1日平均200分です。

この結果を教職員も受け止めて、指導に生かしているそうです。

また、「保護者の方のあたたかい言葉」を紹介しています。家族の会話を楽しんだり、親子のふれあいを深めたりする様子がわかり「ハッピー・スマイル週間」の充実度が伝わってきます。

5日(げつ)	4日(日)	3日(土)	2日(金)	1日(木)	31日(水)	
いよ はな な あ れ	きあ ん か ず	たち ろ か う	い ん の と	よ る の お さん ぼん?	あ り が と う	よ ん だ 本
おかあ さん	おかあ さん	おかあ さん	おかあ さん	おかあ さん	おかあ さん	だれと
15	15	10	15	20	20	なんぶん

【ふりかえり】
ほんをよむのがたのし
かたにぞお

【おうちの時から】
しずかにほんをよめました。よんだあとに、おはなししてくれて、うれしかったよ！ まいにち、がんばってね！

	31日(水)	1日(木)	2日(金)	3日(土)	4日(日)	5日(月)
読書	○・x	○・x	○・x	○・x	○・x	○・x
漢字ドリル	○・x	○・x	○・x	○・x	○・x	○・x
計算ドリル	○・x	○・x	○・x	○・x	○・x	○・x
音読練習	○・x	○・x	○・x	○・x	○・x	○・x
生活記録	○・x	○・x	○・x	○・x	○・x	○・x
自主学習 (取組んだ内容を書く)	算数 分数の かけ算	社会	社会の テスト勉強			算数 分数の わり算
読書した時間	20分	20分	25分	20分	20分	30分
学習した時間	95分	90分	90分	20分	20分	95分
ノーテレビ・ノーゲームができたか	○・x	○・x	○・x	○・x	○・x	○・x
保護者のサイン(印)	(印)	(印)	(印)	(印)	(印)	(印)
担任のサイン(印)	(印)	(印)	(印)	(印)	(印)	(印)

ハッピー・スマイル週間をふりかえって

保護者から子どもへ(応援やアドバイス)
ノーゲーム・ノーテレビができて、家族で遊んだり読書をしたりして過ごすことができたとよかったです。これからも見るつもりのないテレビは消すようにしよう。

土曜日、日曜日、平日もノーゲーム、ノーテレビ。読書をやめることなくまたのよかったです。

【保護者の方のあたたかい言葉の紹介より】

本をたくさん読んでおもしろかったね。毎日の本読み、これからも続けてやっていこうね。

図書館で本を借りて来て一緒に一杯読めました。時間がかかりますが、後でもう一度一緒に読んで二人で楽しみました。久しぶりに楽しかったです。ありがとうございました。

テレビを見る時間がないと、すべて、その日やらなければならない事がスムーズに進むから、頑張ったね。

いつもよりたくさん読書したり、家で工作したりして、テレビを見ない時間も楽しく過ごせました。

【今年の実践カードの感想より】

子：うれしかったです。
親：忙しいと、なかなか一緒に読むことができなかったのですが、読んであげると、とてもうれしそうにしていたので、これからも続けていきたいです！！

子：読書をいつもより長い時間やれるようにがんばりました。
親：ノーテレビ・ノーゲームの時間に読書をしたり、家族と遊んだりできたのでよかったです。これからも時間を大切に使おうね。

子：音読をやって、楽しくてもっとやってみたくなりました。
親：テレビを見ずに、集中して勉強できましたね。このまま、つづけてね。

子：わたしは、学習時間が100分間できたのでよかったです。これからも100分以上やりたいです。
親：自分から進んで何事もでき、自覚をもった暮らしができていました。本が好きすぎて、寝る時間が遅くなるのがたまにきずだけだね。

羽島市立小熊小学校

在宅取組型 5月1日(月)～5月7日(日)

「ノーメディアデー」 ～家族の絆を深める日～

この取組の願いが素敵です。「ノーメディアデー」は「家族の絆を深める日」とするためにを行っています。その効果も書かれています。

- ①テレビ・ゲームの時間を減らす。
自律←自分で時間の使い方をコントロールする
気力←テレビ・ゲームによる脳の疲れを持ちこさない
意欲←手伝い・読書・外遊び等多様な経験をさせる
- ②おうちのひととの会話を増やそう
「自分」に関わることを語り合おう
自信←子どもの話を聴き、認めて勇気づける
希望←大人の体験を語り、将来の夢や見通しをもたせる
関わり←家族共通体験で家族の絆を深める

チャレンジシートには、5つのコースがあり、選んで挑戦します。家族とも話し合い、宣言して取り組むようになっています。

- メロン：朝からねるまでノーメディア
- ぶどう：学校から帰ったあとノーメディア
- いちご：メディア使用は1日1時間まで
- りんご：メディア使用は1日2時間まで
- バナナ：夕食の時だけノーメディア

子どもが好きなフルーツの名前を付け、全員に参加してもらい、子どもも大人もよりよい時間を過ごしてもらえようとしています。

結果は、メロン6、ぶどう20、いちご28、りんご34、バナナ43人でした。

ノーメディアで生み出した時間は、「会話」に生かした家族が圧倒的に多く、「外遊び、読書、手伝い、料理」にも活用しています。

ノーメディアによって、「会話が増えた」「いつもより深く話せた」「みんなが笑顔になった」そうです。親の意識が変わりはじめ、家族での時間の使い方に工夫がなされ、絆を深めています。

<りんごコース>

子：家族とトランプなどをして過ごせてたのしかった。
親：皆でトランプができて楽しかったね。またやろうね。

<りんごコース>

子：お茶を入れて楽しく会話ができた。
親：祖母と一緒に庭に生えているレモンバームの葉を摘み取って紅茶を入れたり、家族でバーベキューをしたりして楽しく過ごせました。

運営者の願い・目的

家庭でのテレビ・ゲーム・パソコン・携帯電話等のメディアに費やす時間をコントロールし、家族との対話や読書、外遊び等の有意義な活動に使うことによって、家族の絆を深められるようにする。

「話そう！語ろう！わが家の約束」運動の進め方

①年に5回、「ノーメディアデー(家族の絆を深める日)」を実施。各家庭の実状に応じて、チャレンジシートのコースを選んで実行する。

*5月・夏休み・10月・冬休み・2月

②各家庭で記入し、担任に提出。結果を集計しまとめる。

第1回 ノーメディアデー家族の絆を深める日チャレンジシート
(テレビ・DVD・ゲーム・まんが・パソコン・携帯電話を見ない、しない)

5年 名前

5月1日(月)～5月7日(日)のうちの1日

あなたはどのコースにチャレンジしますか？家族とも話し合い、宣言して取り組みましょう。

メロン コース	朝からねるまでノーメディア ★1日まったくテレビ・ゲーム・パソコンなど見ない・しないコースです。上手な時間の使い方を考えることができ充実した1日を過ごせます。
ぶどう コース	学校から帰った後、ノーメディア ★メディアとの付き合いは朝だけにすることを。帰ってからの時間がしっかり使えます。
いちご コース	メディアを使ってよいのは 1日1時間まで ★番組や時間を決めて取り組むコースです。取り組みで生まれた時間を充実させることができます。
りんご コース	メディアを使ってよいのは 1日2時間まで ★いちごコースの時間を長くしたコースです。メリハリのあるくらしができます。
バナナ コース	夕食の時だけノーメディア ★夕食のときはテレビやゲームを消すコースです。食事しながら家族の会話の楽しさや大切さを実感できます。

わたしは **いちご** コースに取り組みます。

取り組みが・・・	できた	すこしできた	できなかった
取り組みで生まれた時間はだれと何に使いましたか？			
★だれと… <input type="checkbox"/> 父親 <input type="checkbox"/> 母親 <input type="checkbox"/> おじいちゃん <input type="checkbox"/> おばあちゃん <input type="checkbox"/> 兄弟姉妹 <input type="checkbox"/> カ <input type="checkbox"/> その他(いってこ)			
★何に… <input type="checkbox"/> 読書 <input type="checkbox"/> 手伝い <input type="checkbox"/> スポーツ <input type="checkbox"/> 外遊び <input type="checkbox"/> 音楽 <input type="checkbox"/> 料理 <input type="checkbox"/> 会話 <input type="checkbox"/> ゲーム(トランプ・かるたなどのカードゲーム・ボードゲーム等のゲーム以外のもの) <input type="checkbox"/> ケものづくり <input type="checkbox"/> 学習 <input type="checkbox"/> 散歩 <input type="checkbox"/> 読書 <input type="checkbox"/> その他			
自分の感想 みんなとたくさん遊んだりできたのでよかったです。			
保護者の感想 親族一同ババー(日まわり)外遊んだり1日1時間だけ過ごせました。 メディアは			

★5月8日(月)に学校へ提出してください。

<バナナコース>

子：食事時間だけでもテレビを消してできたので嬉しかった。
親：テレビを消すことで家族の会話が増え、楽しい時間が持て、学校や友達のことをたくさん話してくれました。

<いちごコース>

子：毎コースを兄弟でクリアできた。次はメロンかぶどうに挑戦だ。
親：兄弟力を合わせて取り組めたことは、とってもよかったですね。次もがんばってください。

本美市立真桑小学校

在宅取組型 6月9日(金)～6月15日(木)

「こつこつ!ぐんぐん!おうちべんきょう」

「こつこつ!ぐんぐん!おうちべんきょう」の取組は、昨年度からで、真正中学校のテスト週間に合わせて年2回(6月・11月)実施されています。

「家庭学習を習慣化するには、家族のサポートが欠かせません。一緒に開始時刻や目標時間を決め、環境を整えます。そして、進んで取り組めるよう呼びかけ見守ります。」と、次の2点を依頼。

家庭学習を習慣化させるための秘訣!!

①家庭学習をする環境を整えましょう!

家庭学習の場所は、学習に集中できるように整理整頓をし、その時間は家族も落ち着いて過ごしましょう。親子で一緒に読書をするなどもとてもよい時間の過ごし方です。

②やる気を引き出す保護者の言葉!

やる気を引き出すには、否定的な言葉ではなく、肯定的な言葉かけが大切です。

開始時刻や目標時間は、ほとんどの子が守ることができ、よい成果をあげています。取組結果は7月学級懇談会資料として配布され、PTA委員の進行で保護者同士の交流をしました。

- ◇声掛けのみをし、普段通りの生活であった。
- ◇TVは消して、雑誌を読んだり傍に居たり、静かにできるようにした。
- ◇兄弟そろってやるようにした。ノーテレビ・ノースマホがきいて、取り組みは成功した。
- ◇子ども一人なので、テレビは消し、親がぐうたらしないで家事を必死にやるようにした。本人も親も集中できるようにした。

集計表には、「お子さんが勉強に集中するためにどんな協力をしましたか?」の結果があります。

- 「テレビを消す、ゲームを預かる」等、静かに集中できる環境づくりをする。
- 「隣で読書をする、勉強中は親も仕事をする」等、全員で学習時間を共有する。
- 「毎日同じ時間に食事・勉強ができるようにした」等、規則正しい習慣づくりをする。
- 「がんばっているね」等、肯定的な言葉をかける。
- 一緒に計画を立て、見守る。

こうした家族での会話や見守りが、家庭学習の習慣化を支えています。

運営者の願い・目的

望ましい学習習慣を身に付け、学力を向上させるため、
①決まった時間に家庭学習を始め(学年×10+10)分以上、取り組む。②家族で家庭学習に取り組む。

「話そう!語ろう!わが家の約束」運動の進め方

- ①6/6～6/8 取組期間の計画を親子で立てる
習い事や家の都合等を考えて、開始時刻を決める。
- ②6/9～6/15 取り組む 毎日記録を付ける
- ③6/16 取組用紙回収
- ④6/20～6/23 本部役員で集計・考察し保護者に配布

こつこつ!ぐんぐん!おうちべんきょう

| 年 組 なまえ

◆ 決まった時間に家庭学習を始め、(学年×10+10)分以上 取り組もう。

もくひょうの勉強時間 30 分 *おはんのせい!!*

はじめに勉強を始める予定時間を書いておきましょう もくひょう時間よりできたらO

	勉強を始める時間	まもれたかな ○・×	何分勉強しましたか	○・×
6/9(金)	19時00分	0	30分	0
6/10(土)	8時00分	0	30分	0
6/11(日)	8時00分	0	20分	×
6/12(月)	19時00分	0	30分	0
6/13(火)	19時00分	0	30分	0
6/14(水)	19時00分	0	40分	0
6/15(木)	19時00分	0	50分	0

お家の方へ : お子さんが勉強に集中するために、どんな協力をしましたか?

リビングで学習しているので、勉強中はテレビを消しました。

また土日は父親がいる時はどなりで一緒に仕事しました。



配布資料(B4版表裏)の一部、学年別のグラフや記述で、まとめがされている。

